

2022.2.28

お知らせ & お願い：3/19 第 31 回働学研オンライン研究会

十名 直喜

3/19 第 31 回働学研は、国際文化政策研究教育学会および市民大学院との共催で、春季研究交流集会（3/19-20）の一環として開催されます。

月例会（オンライン）は、開始時間をいつもより 1 時間早め、13 時開始 となります。

開始に先立ち、12 時 50 分より開会式が行われます（10 分間）。中谷武雄会長（国際文化政策研究教育学会）および金井萬造理事長（市民大学院）より、開会のあいさつがなされます。

第 31 回働学研は、「創造的な学びと経営のダイナミズム」をテーマにしています。プログラムは、11 本の発表・議論に基づき、3 部編成になっています。4 時間（13:00～17:00）にわたり、多彩な発表も準備されています。

「第 1 部 勤勉・勤労と創造的学び」（司会：太田）は、3 本の発表・議論がなされます。

「第 2 部 企業・地域・社会の経営と文化」（司会：冨澤）は、4 本の発表・議論が行われます。

「第 3 部 『サステナビリティの経営哲学』書評会」（司会：濱）は、書評 3 本とリプライ 1 本が組まれています。

なお発表資料 11 本（+ α ）は、発表資料フォルダにて関係者に事前開示（3 月 13 日目標）する予定です。

盛りだくさんの発表で、発表 & 議論の時間には限りもありますが、多様かつ深い議論ができればと期待しています。

皆さんのご参加、お待ちしております。ご参加の方は、十名（tona@iris.eonet.ne.jp）までおしらせください。また、国際文化政策研究交流学会ホームページからの申し込みもできます。奮ってご応募願います。

3/19 第 31 回働学研プログラム

テーマ 創造的な学びと経営のダイナミズム

（司会：太田・冨澤・濱、画面：澤 & 発表 15 分・議論 10 分：計 25 分/本）

第 1 部 勤勉・勤労と創造的学び（司会：太田 13:00～14:15）

堀 隆一：「二宮尊徳の勤勉・勤労思想」

十名直喜：「学びあい育ちあいの理論と政策 ―働学研の創造的発展への視座」

高松平蔵・平松民平：「出版の動機・意義と言論環境革命」

第2部 企業・地域・社会の経営と文化（司会：富澤 14:15～16:00）

中野健一：「企業経営学から地域経営学への発展 ―日本経営学の基本的特質」

片山勝己：「ICT が促す工具調達システムの変容と課題 ―大規模製造業を中心にして」

杉山友城：「文化創造の条件に関する一考察 ―若州窯の事例を参考に」

小野 満：「重層消費社会と中小企業」

第3部 書評会：十名直喜『サステナビリティの経営哲学』（司会：濱 16:00～17:00）

澤 稜介：『国際文化政策』15分

聴涛 洋：『経済科学通信』10分

中谷武雄：『季刊 経済理論』（企画）10分

十名直喜：書評へのリプライ 10分、全体討議 15分